

# TPPの意見書(案)廃案に! 志誠会の態度逆転!



発言する松浦議員

網走市議会総務経済委員会が、12月8日に開かれ議案審査の後、請願・陳情・意見書の要請の審査が行われました。9月議会に松浦議員から議会あてに提出されていた「TPP協定の調印・批准しないことを求める」意見書の要請について再度審査されました。議会の申し合わせで、要請については2回の審査で結論が出なければ審議未了・廃案になります。松浦議員は、「アメリカの次期大統領がTPPからの撤退を明言している下では、協定は締結されないことが明白であり、これ以上の国会での強行は許されないと」と意見書の採択を求めました。結政の会の川原田議員も採択を主張、しかし、誠政会の工藤議員は「国が批准した段階で変えざるを得ない」と無党派の小田部議員も批准しな

いという意見書には同意できない」と主張したため、意見書は審議未了・廃案となりました。松浦議員は、「昨年まで同様の意見書が全会一致で採択されていたものを、この大事な時に態度の変更は許されない」と述べています。

## 自衛隊の広報活動は「戦争法」(安保法制)の元で自衛隊の姿を真に伝えているだろうか?

12月3日に新日本婦人の会網走支部の大会で、次のような発言がありました。「高校で進路指導をしている頃、毎年自衛隊の方が来校し、自衛隊に入ると資格が取れる、安定した給料がもらえる。又国を守り、人に役に立つ仕事であると説明するわけです。」

子供達は、大きな災害時に活躍する自衛隊員の姿を見て、人の役に立つ仕事がしたいと真面目に考え毎年希望者が数名



松浦議員のあいさつの後、にぎやかな忘年会になった松浦事務所

南後援会総会・忘年会が12月10日行われました。総会は、開会挨拶を堀内会長からあり、続いて私から国会情勢、TPP問題、年金カット法案、カジノ法



猫松浦奮戦モ!



案などについて、「安倍内閣は連日のように強行採決が行われていて異常な国会が続いています。新年にも解散総選挙があります。」

野党共闘と市民運動が力を合わせれば必ず勝てる」と訴えました。また市議会の様子や一般質問の「平和都市宣言、子どもの貧困問題」についても報告をしました。そして、「この忘年会は、来年が希望の持てる『望年会』にしましょう」とあいさつしました。

乾杯の後、たくさんの手料理を食べながらお酒を酌み交わし、ビンゴゲームを楽しみ、宴もたけなわの内に終了しました。

いました。」

折しも11日付けしんぶん『赤旗』に「全国の高校の4割で自衛隊勧誘説明会が開かれ、自衛隊体験入隊に参加した中学生、高校生が過去4年間で毎年5000人を超えた」と報道しました。防衛省は、「子供の入隊意識を高めよう」と、文科省が推進する「総合的な学習時間」の活用を支援するとして、『隊内生活体験』を広報しています。そこでどんなことが行われているのか、自衛隊ホームページには、一例として①防衛問題・陸上自衛隊に関

する説明・広報映画②隊内見学・装備品等見学③訓練見学④自衛隊車両等の体験搭乗⑤隊員との懇談などとなっています。学校紹介を強

める防衛省の動きに、「戦争法」の下で子供たちをどう守るのか全国で運動が広がっています。



戦車の前の中学生 (防衛省ホームページより)

## 流水

▼「38回オホーツク合唱フェスティバル」は、毎年11月に開かれる。今年も網走会場だった。市内の小学校も含め、26団体が参加してエコーセンターで実施された。▼力強いかけ声が会場の隅々まで届いた幕開けにふさわしいシルバークーラスで、祭りが始まった!とウキウキしたムードになった。時間をかけた発声指導のその声は、差別や選別が当たり前とする時代に、子守りをする者が苦しみや悲しみを慰めるために歌う『♪竹田の子守唄』に現れていたように思うが、歌うその表情にも人生にも重なる胸に響く。▼唯一の参加になったN小学校の演奏中のことだった。障がいのある団員のNちゃんが嬉しくてピアノに触れた、どうなるかと見守ると待機していた先生がすくと出てきて、震災によって失った命と生きる力を歌った『♪大切なもの』を、Nちゃんに寄り添い団員と楽しそうに歌う姿は、涙腺が緩む!。合唱祭にふさわしい温かな拍手がいつぱいだった。指揮や伴奏を担当した先生たちは子育て真っ最中。一緒に歌った先生は、4月に赴任してきた管理職だと聞いた。教育現場も頑張っている。▼世代を超えて集うフェスティバルの養った交歓会が、質と共にレベルアップしている。▼沖繩の古謝美佐子作詞で、命の重みを願って歌う『♪童神』を、心をこめて歌った所属する合唱団は、来年31回の定演を迎える。(て)

